

Cool Thermo

商品名	クーラーE	品番	0310002
-----	-------	----	---------

適合車種	
EJ20搭載車	ターボエンジン専用
EJ25搭載車	ターボエンジン専用

取付及び取扱いマニュアル

- ◎ この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
- ◎ この取扱説明書には、製品を使用する場合と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載しております。よくお読みになり、正しくお使い下さい。
- ◎ 本書は、いつでも読めるように大切に保管しておいて下さい。
- ◎ 本書には以下のマークを使用してお客様への危険レベルをあらわしております。



安全のため必ず守っていただきたい注意事項です。記載内容を守らない誤った取付け・取扱いをされた場合、作業者又は使用者が、死亡または重症を負う危険につながる恐れがあります。



本製品の故障や損傷を防ぐため守っていただきたいことを記載しています。



本製品の取付けをする際のアドバイスを記載しております。

販売店様へ: このマニュアルは必ずお客様へお渡し下さい!

株式会社 ゼロスポーツ

岐阜県各務原市大野町16-101-2
TEL 058-380-2828



- この商品は、ノーマル車両又は、ゼロスポーツ商品を装着した適応車両に対しての専用商品です。それ以外の車両に装着された場合の機能及び性能、安全性は保証いたしかねます。
- 本商品の取付け作業は必ず専門業者又は、認可を受けた整備工場で行い、純正パーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備解説書と本誌を併用して、十分に理解した上、行ってください。
- 本商品を取付けの際は、作業を安全に行う為に、平坦な場所で行ってください。
- 本商品取付けの前に、取付対象車両に異常がないか十分確認をして下さい。異常がある場合は、まずその修理を行ってください。
- 作業を行う際は、エンジンやマフラー等が十分冷えた状態になってから行って下さい。火傷等の恐れがあります。
- 取付け作業は道路や不特定多数の人が出入りする場所では行わないで下さい。
- 作業中に小さなお子様やペットが近づかないように注意して下さい。
- バッテリーの取外作業が伴う場合は必ず、マイナス端子から取外し、端子同士又は、端子とボディ等金属部分に触れないようご注意ください。取付けの際はプラス端子から行って下さい。ショートを起こすと重大な事故に繋がる場合があります。
- 商品や、取外した部品などで怪我をする恐れがありますので、手袋や保護メガネ等で保護して下さい。
- 商品取付け後、お車に異常が無い事を十分に確認した上で、走行試験を行ってください。確認を怠ると事故の原因となります。



- この商品について、部品・付属品の不足や不具合がある場合は、販売店又は弊社までご連絡下さい。
- 作業の安全を確保するため、取付け作業は必ずエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、エンジンキーを抜いた状態で行ってください。
- 商品を装着前に落下させたり、無理な力を加えると装着や機能の不良の原因となる場合がありますので、ご注意ください。
- 工具は適切なものを使い、取外したボルトやナットは整備解説書もしくは本誌記載のトルクで締付けを行ってください。
- 本商品は改良の為、予告なく仕様・付属品等を変更する場合がございます。

構成部品 及び 付属品リスト (1)

	品名	クールサーモ
	品番	0310002
	数量	1

取付方法 (1)

- アンダーカバーが取り付けられている場合は、取り外して下さい。
- エンジンが十分冷えていることを確認後、ラジエーター右下のドレンプラグ下側にクーラント回収容器を置き、ドレンプラグを緩めてクーラントを排出して下さい。
- 排出を促進するため、ラジエーターキャップを外して下さい。
- 排出が終わったら、ドレンコックをしめて回収容器をロアホース下に移動して下さい。
- ロアホースのホースバンド (図 1-a) をゆるめ、ロアホース (図 1-b) を取り外して下さい。
- サーモスタットカバー (図 2-d) を固定している M6 ボルト (図 2-e) を取り外して下さい。
- サーモスタットカバーを外し、サーモスタットを取り外して下さい。
(このとき、エンジン内に残ったクーラントが排出されます。)
- クールサーモをジグ/リブ (図 3-e) が真上に来るようにエンジン側にセットして下さい。
- サーモスタットハウジングを取り付け、ボルト 2 本を締め付けて下さい。
締め付けトルク 12 ± 2Nm
- ロアホースを取り付け、ホースバンドを締め付けて下さい。

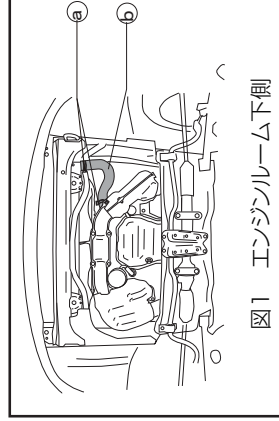


図1 エンジンルーム下側

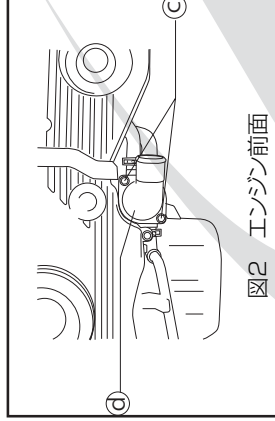


図2 エンジン前面

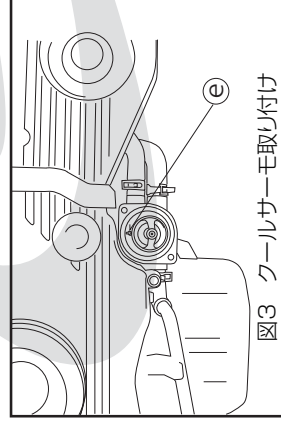


図3 クールサーモ取り付け

取付方法 (2)

- 次の手順でクーラントを注入してください。
 - ラジエーターのドレンコックを締める。
 - クーラントを注水タンク口元まで給水し、ラジエーターキャップを取り付ける。
 - エンジンを始動し、再度注水タンク口元まで給水し、ラジエーターキャップを取り付ける。
 - リザーバータンクを FULL レベルまで給水する。
 - ラジエーターキャップを取り付け、エンジンを 2000rpm 以下でサーモスタットが開きロアホースが熱くなるまで暖機運転して冷却経路のエアを抜く。
 - 水温が 50°C 程度まで冷えたとき、注水タンク口元まで給水し、キャップをしめる。
 - 次に完全に冷えた状態 (水温 30°C 以下) であり、サーボタンクの減り具合を点検し、再度 FULL レベルまで注水する。
- ※冷却経路内のエアが完全に抜けていない場合、オーバーヒート等の不具合が発生することがあります。ラジタン等のエア抜き用具を使用してエア抜きを確実に行うことをお勧めします。
- 水漏れや締め忘れのないことを確認してください。
 - 手順 1 でアンダーカバーを取り外した場合は取り付けてください。